

高知県No.1の生産量を目指して

やまもと
山本あゆみさん(43歳)

元々は事務の仕事に就いていましたが、夫婦で将来は農業をしたいと考えていたこともあり、2年前に知人の空きハウスを借りて就農しました。現在は30アールで土佐甘とうを栽培し、JAと直販所「春の里」に出荷しています。

定植から根が張るまでは枝が弱りやすく、早朝からの水管理は大変ですが、実が無事にできて収穫できた時は、努力が報われたようでとても嬉しいです。高い秀品率と、高知県No.1の生産量を目指して頑張ります！

休みの日は、家族でランチの美味しいお店を開拓しています。そのほか、ホラー映画を見ることも好きです。

春の里より



肉厚で大きいものは
チンジャオロース、
小さく柔らかいものは
肉巻きなどお肉料理に
オススメです！

高知 地区から こんにちは

芳原より



食を通じた健康づくりを 伝えています

うえた けいこ
上田 啓子さん(77歳)

嫁いだ先は農家でしたが、事務の仕事に就いていました。しかし、主人が農業を継ぐことになり就農。10年ほど前まで米を栽培しており、それ以前はイグサも栽培していました。現在は季節のものを直販所へ出荷しながら、健康に気を使い方々の散歩を心掛けています。

40年以上、食生活改善推進員（通称：ヘルスメイト）をしています。ボランティアで年に数回、公民館で料理や栄養・健康のことなど、食を通じた健康づくりを地域の方に伝えていく活動をしています。地域の友人と会ってお話しながら、講習や料理をすることが楽しみです。

1人1人に似合うスタイルを提案

hair&make affect

わきもと あゆみ
店長 脇本 歩さん(48歳)

専門学校を卒業後、県内外の店舗で9年間修行し独立。自宅兼店舗になる物件を探し、17年前に春野で開業しました。成人式やよさこいなどのヘアセット・着付けもしていて、1人1人に似合うスタイルをカウンセリングし提案しています。美容師はお客様に喜んでもらえる、感謝される仕事でとてもやりがいがあります。

年齢・性別関係なくご来店いただけるよう、店内は木を基調とした落ち着いた空間にしており、化粧品・ヘアケア商品も販売しています。LINE予約もできますので、お気軽にお問い合わせください。ご来店お待ちしております！

弘岡下より



LINE予約は
コチラから！

Instagramも
やってます！



@AYUMI.WAKIMOTO5599



〒781-0303 高知県高知市春野町弘岡下3738-2

お問い合わせ TEL.088-894-5599

営業時間 9:30-18:00 定休日 月曜日・第3日曜日

次世代に猪肉のおいしさを つなげていきたい

ジビエ浦ノ内企業組合

みやもと よしひこ
事務所長 宮本 良彦さん(49歳)
まつもと あおい
松本 碧さん(25歳)

私たちは「イノシシジビエ」の専門家です。須崎市だけで年間1,000頭以上狩猟されるにもかかわらず、廃棄されていた猪を何とか食資源にできないかと、令和元年に企業組合を設立。翌年5月から鳥獣解体施設を本格稼働させ、猪の狩猟・加工・販売までを一貫して行っています。狩猟後血抜きして2時間以内の新鮮な猪しか取り扱っていません。赤身の力強い旨みとしつこくない脂の甘みを兼ね備えた猪肉をぜひ一度お試しください！

鳥獣害対策は、地域になくてはならないものです。今後も行政と連携し、若いハンターや組合事業に関わる人材確保に取り組み、次世代に猪肉のおいしさを伝えていきたいと思っています。

とさのさとより



「とさのさと」では
骨付き肉・スライスが
売れ筋です！

Instagramは
コチラ！



5

高知地区

春野園芸部 情報共有し販売強化を



意見交換する参加者ら

春野園芸部は7月25日、高知市で青果物販売取引検討会を開きました。令和7年度に向けて販売につなげるのが目的。生産者や市場関係者、JA職員ら約40人が出席し、情報交換しました。

JAがキュウリなど6品目における本年度の月別取り扱い数などを説明し、市場関係者からは品目別情勢、次年度の販売強化策を報告。意見交換では「物流2024年問題」の現状や農産物の価格転嫁について話し合いました。

谷脇憲二常務は「農業を取り巻く環境が厳しい中でも、元気な産地を作れるよう、消費者の動向・産地の現状について情報共有し青果物の販売強化につなげたい」と話しました。

6

高知地区

四国大会に向けて 高校生花いけバトル練習会



真剣に花を生ける高校生

高知県とJAグループ高知で構成する高知県園芸品販売拡大協議会は7月28日、「高校生花いけバトル」の2回目の練習会を高知市内で開きました。若い世代に県産花を知ってもらうとともに、花に触れる機会を創出することで花に興味や親しみをもち、県産花の需要拡大を目的に開催。県内の中高生20人が参加しました。

練習会では、生花店が講師を務め、競技のルールや完成した作品のフィードバックなどを行いました。県内のトルコギキョウ生産者の籠谷英彰さんは「花いけバトルには興味があった。提供している花を使って頑張っほしい」と話しました。

3

高知地区

肥育繁殖農家を表彰 高知県肉用牛部会肉牛枝肉共励会



褐毛和種の部・最優秀賞を受賞した秋山さん㊟

高知県肉用牛部会は7月1日、高知県食肉センター(株)で第1回高知県肉用牛部会肉牛枝肉共励会を開きました。対象牛を県内家畜市場導入牛に限定した共励会としては今回が初。枝肉品評会とせり市販売が行われ、同部会、県関係者、JA、畜産関係団体・県内生産農家、県内外の量販店専門店など関係者約80人が参加しました。

品評会では褐毛10頭、黒毛6頭の計16頭が出品。審査の結果、黒毛和種の部は高岡郡梶原町の(一社)津野山畜産公社、褐毛和種の部は長岡郡本山町の秋山裕二さんが最優秀賞となりました。

4

高知地区

フレッシュミズ部会と楽しく交流！ 嶺北地域の新鮮な食材を楽しむ



野菜クイズをするフレッシュミズ部会と参加者(土佐郡土佐町で)

JA高知女性組織協議会フレッシュミズ部会は7月21日、集落活動センター「いしはらの里」で交流イベントを開き、家族連れら36人が参加しました。イベントを通じて、組織・活動を知ってもらうことで仲間づくりにつながります。

参加者は野菜や畜産に関するクイズに挑戦。正解者の中からじゃんけんで勝った方に嶺北地域のシシトウやミニトマトなどをプレゼント。クイズに正解した家族は「身近な野菜にも知らないことがあった」と話しました。

また、アメゴのつかみ取り体験をした後は、アメゴの串焼きと土佐あかうしのバーベキューを行い、嶺北地域の新鮮な食材を楽しみました。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



調理実習をする生徒ら

1 高知地区

地元中学生に出前授業 地元野菜をもっと知って

春野営農経済センターは7月18日、高知市立春野中学校の3年生89人に、出前授業を通じて食農教育を行いました。昨年、授業の一環で、同センター職員が地元野菜について生徒に話したところ、地元野菜を知らないという回答が多かったことをきっかけに企画。地元の子どもたちに春野自慢の農作物やその食べ方、現代の農業における課題を知ってもらうことが目的です。

授業では、地域で栽培される作物や特徴紹介のほか、生産者や耕作面積が減っている現状、食料自給率や国産品産の重要性について説明。また、地元生産者がオススメするレシピの調理実習と試食を行い、キュウリと新シヨウガもお土産に渡しました。

参加した生徒は「春野町のキュウリ生産者数や面積に驚いた」「シヨウガと新シヨウガの違いを初めて知った」「新シヨウガの香りが良くておいしい」「家でも料理を作ってみたい」など感想を話しました。



品質を確認する関係者

2 高知地区

品質向上にむけて 令和6年度荒茶研修会

JA高知県農畜産課は7月19日、高知市で荒茶の研修会を開きました。荒茶の品質向上に向け、生産者や関係者らと情報共有し、品質向上への意識を高めることが目的です。今年で8回目の開催となり、生産者、JA・県担当者、荒茶加工場および個人工場担当者、県内外茶商など約50人が参加しました。

第1部の令和6年度荒茶サンプル外観研修では、県内各産地で生産された荒茶の色合いや香りを確認し、出来を共有。第2部では、県内外の茶の状況につ

いて情報を共有しました。同JAは荒茶生産状況を報告、高知県農産物マーケティング戦略課はTOSA CHA茶リティーボトル還元金、土佐茶新商品開発事業費補助金について報告しました。

静岡県の(株)山崎屋の山崎和俊仕入製造部長は「品質向上のために情報共有をしてより良い生産ができるよう、協力していきたい」と話しました。

スクミリンゴガイの防除対策について

近年、温暖化等の影響により、スクミリンゴガイの発生数が、春先に増加する傾向にあり、水稻の食害が問題となっています。今回は、水稻収穫後の秋期にできるスクミリンゴガイの防除対策について紹介します。



1. スクミリンゴガイの生態

スクミリンゴガイ（通称：ジャンボタニシ）は、殻高2～7cmの巻貝です。春に水温が上昇すると土中から出てきて活動を始め、水稻の柔らかい葉を食害します。また、水稻の茎や水路の壁面等にピンク色の卵を産卵します。スクミリンゴガイは、水温14℃以下になると活動を停止し、田んぼや用排水路の土中に潜って越冬し、翌年の春、再び活動を始めます。

2. スクミリンゴガイの防除対策

①秋期の石灰窒素散布

11月下旬（水温17℃以上の時期）までに水深3～4cm程度の水を張り、1～4日放置すると、土中に潜っていたスクミリンゴガイが水中に出てきます。

その後、石灰窒素20～30 kg/10a をほ場全面に散布し、3～4日湛水状態を保つと石灰窒素の主成分カルシウムシアナミドが、水中でカルシウムとシアナミドに分解されます。このシアナミドが殺貝効果を発揮します。

※湛水した水は、用水路に流さないようにして下さい。

【登録情報】

商品名	作物名	適用害虫	使用量	使用方法
石灰窒素	水稻	スクミリンゴガイ	20～30kg/10a	散布

②冬期の耕うん

スクミリンゴガイは、土中6cm以内で越冬します。厳寒期（1～2月）に、耕うん深度6cmで、ロータリー耕うんすると、スクミリンゴガイを破碎することができます。また、寒風にさらすことで殺貝できます。

トラクターの走行速度をできるだけ遅く、ロータリーの回転を高速にすると破碎効果が高くなります。



3. 留意事項

①スクミリンゴガイは、広東住血線虫等がいることがあるので、触る場合は、ゴム手袋、ゴミ拾い用トング等を使用しましょう。もし、素手で触った時は、手を石けん等でよく洗いましょう。

②トラクターの移動時は、別のほ場にスクミリンゴガイを持ち込まないようにするため、爪やアタッチメントをしっかりと洗浄しましょう。

③石灰窒素は魚毒性があります。石灰窒素を含んだ水が用水路に溢れ出ないように注意しましょう。

④石灰窒素は農薬です。使用前には必ず登録内容を確認してください。

商品によっては、登録のないものがあります。

問い合わせ先：中央西農業振興センター 高知農業改良普及所
(TEL.088-861-0711) (FAX.088-861-0660)



春野営農経済センターからのお知らせ

高知地区 春野営農経済センター 営農指導課
電話:088-894-5660



農薬の安全使用について

農薬を使用する際は、下記の事項を守って農薬を安全に使用しましょう。



購入時：対象作物に農薬登録があるか確認しておきましょう。

使用前：農薬ラベルを必ず確認しましょう。（登録作物・倍数・散布量・使用時期・回数）

散布中：ラベルに記載された散布方法に則し、正しく散布しましょう。

※「株元灌注」「株元散布」等の使用方法では、作物地上部に薬液を付着させてはいけません。

登録のない作物へ飛散しないように風向きにも注意が必要です。

履歴の記帳：使用した農薬は、年月日・薬剤名・倍数・散布量等の記録をしておきましょう。

片付け：散布器具（動噴・タンク・ホース等）は散布後洗浄し、次回の散布時に農薬の混用がないようにしましょう。

保管：農薬はカギのかかる棚または倉庫に保管しましょう。

廃棄：農薬の空容器や空袋は、河川、水路等には絶対に廃棄してはいけません。廃棄物処理業者への委託や、JAの廃棄農薬回収等の機会を利用しましょう。

鳥獣被害対策専門員からのお知らせ

狩猟免許を取得しませんか

近年、春野町ではイノシシを中心とした農作物の害獣被害が問題となっております。害獣の捕獲には、箱罠や檻罠が有効とされていますが、いずれの方法も狩猟免許の取得が必要となります。令和6年度、近隣で実施されます狩猟免許の試験日程は以下のとおりですが、申込をすれば別日程で事前に初心者講習会も受けられますので、害獣などの被害にお困りだったり、捕獲についてご興味がある方は、下記連絡先までご相談ください。

日時	試験を行う免許の種類	会場
令和6年11月16日（土） 午前10時より	わな猟	高知市春野文化ホール ピアステージ
令和6年11月17日（日） 午前10時より	第一種銃猟 第二種銃猟	

高知市農林水産課（第二庁舎2階） 電話:088-823-9458
県中山間地域対策課鳥獣対策室（本庁舎3階） 電話:088-823-9042

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

「輝け！新農人」は毎号楽しみ。若い人たちが就農している高知の未来が明るいものと信じています。

（高知市昭和町 65歳）

▼7月号では、営農指導員や先輩農家のアドバイスを参考に、栽培方法を模索する就農1年目のピーマン農家さんを紹介しました。栽培技術の向上を目指し、年間収量18tを目標に前向きに取り組む姿がとても輝いています。

生産者の思いや作り方のこだわりなどが知れて面白かったです。

（春野町西畑 67歳）

香美だけに、香り高く美しい！ネギ旨い！

（高知市朝倉内 45歳）

▼特集1では、県内生産量1位の香美地区から、「青ねぎ」と「やっこねぎ」の魅力を紹介しました。産地やブランドを次世代へつなぐ、部会や農家さんの栽培への努力・こだわりをお伝えし、イチオシレシピも掲載しました。

紹介されている方々のイキイキとした様子が伝わってくる。

（春野町西分 81歳）

地元、春野の方が多く見受けられ嬉しいですね。

（春野町南ヶ丘 55歳）

▼高知地区からこんにちはでは、女性部や農家、新採用職員の方々を紹介しました。このコーナーに「知り合いが出ていた」と感想が届くのを毎月楽しみにしています。これからも、頑張る皆さんを紹介していきます！

キュウリが丸ごと！みずみずしく暑い夏にぴったりですね！

（高知市北川添 32歳）

▼「チクカツ！」では、春野胡瓜部会が種間寺でお遍路さんに行った、「高知式ちくきゅう」の試食宣伝を紹介しました。県外から訪れたお遍路さんは皆さん「キュウリまるごと1本の見た目、食べ応えのインパクトがすごい」と驚いていました。

自分にも近づいてきた認知症。予防のためにも、チェックリストを活用していきたいと思います。

（高知市十津 68歳）

▼特集2では、「認知症」について紹介しました。早期発見のためのチェックリストや予防などについても掲載しているので、ぜひ活用ください。

うちんくの台所を参考に作っています。ファイルに綴じています。

（春野町内ノ谷 71歳）

▼「うちんくの台所」では、安芸地区奈半利支部の女性部さんが2品紹介してくれました。レシピ帳として「まごころ」が活躍しているようでとても嬉しいです。

農家さんやイベントの様子など、高知の「今」を写真やコメントを通じて感じることができるJA高知県さんの取組み、とても良いと思います。

（高知市はりまや町 37歳）

▼嬉しいご意見ありがとうございます。これからも皆さんに楽しんでもらえる広報誌作りを心掛けていくので、応援よろしく願います！

【連絡先一覧表】

高知地区（春野町）

企画組合理課 894-3033

はるちゃんのアイス屋 894-2760

春野支所

信用課 894-2203

共済課 894-3304

共済普及課 894-3309

他組織・子会社等

高知中央サービスセンター（事故処理） 821-6015

（株）JAエナジーこうち 春野給油所 828-6212

ルミエールはるの（フリーダイヤル24時間） 0800-200-5911

春野農機センター 894-5290

春野営農経済センター

購買課 828-6111

Aコープはるの直販所「春の里」 894-2225

重油係 828-6115

ビニール加工場 894-4264

経済渉外課 828-6111

JAグリーンはるの店 828-6161

販売課 894-2222

営農指導課 894-5660

第29回 ハルピアまつり 開催のお知らせ

飲食テナント・広場イベント
開催予定です！
ぜひお越しください！

場 所

高知市春野町西分512-2

日 時

10月19日（土）9：00～16：00

10月20日（日）9：00～15：00

駐 車 場

本会場およびJA教育研修センター
（春野町弘岡下中央2454-15）